

令和2年6月12日

校長室だより

第2号

座間市立相模中学校
校長 金子 憲勝



学校再開～新しい相模中様式～

6月1日から学校が再開され、生徒の声が学校に戻ってきました。ただ、新型コロナウイルス感染症対策として「新しい生活様式」が求められており、例年の学校生活とは大きく違った生活を送っています。

本校においては、文部科学省から送られてきたガイドラインを基にして、学校が再開される前の5月中に、感染症対策のための作業を教職員で分担して行いました。まずは、接触を避けるためにペンキで校舎に印をつけ、右側通行を徹底する掲示物を貼りました。次に、手洗い場の前には順番待ちをする位置が分かるように足型の目印を貼りました。その他、生徒のトイレを綺麗に掃除し、各トイレにスリッパを置き、感染防止のポスター等を校舎内に掲示しました。その対策を生徒たちが理解しやすいように、養護教諭が「新しい相模中様式」として「保健だより」に掲載し、感染症対策に取り組んでいます。（「新しい相模中様式」については、先日配付した「保健だより」や本校のホームページをご覧ください。）

その他、6月に入り気温が高くなっているので、感染症を予防する意味からしてすぐに洗う事のできる体操着やジャージでの登校を認め、水筒を持ってこることも呼びかけています。感染症対策だけではなく、熱中症にも気をつけて欲しいと思っています。

積小為大～小さな事の積み重ね～

今年の2月からの月日は、生徒たちだけではなく、保護者の皆様方にとっても、私たち教職員にとっても、過去に経験したことのない先の見えない「不安」の中での生活が続いています。私は、教員になって36年目を迎えたが、今年度のように先の見えない年度は初めてです。皆様にとっても、初めてのことが多く大変な日々が続いていることと思いますので、皆で助け合ってこの不安な日々を乗り越えたいと思います。お子様のことで気になることがありましたら、どうぞご相談ください。

ここで、私が日頃心がけていることを紹介します。私は、『積小為大（せきしょういだい）』という言葉が大好きです。この言葉は、神奈川県出身の二宮尊徳（二宮金次郎）さんの言葉で、意味は次のとおりです。『小さな努力の積み重ねが、やがて大きな収穫や発展に結びつく。小さな事をおろそかにして、大事をなすことはできない。』私は、この新型コロナウイルス感染症のために苦しく辛い生活が続いている今だからこそ、今できることを見つけ、今できる小さな事を積み重ねて将来の発展に結びつけて欲しいと願い、前回の校長室だよりで紹介したとおり始業式や入学式で「できることを見つけて行って欲しい」と話しました。実は、私自身も「自分ができる小さなこと」を積み重ねている最中です。

最後に、明日の午後は学年保護者会です。私は、相模中に赴任してから保護者の皆様にお会いできる日を大変楽しみにしていましたので、ようやく実現でき嬉しいです。明日は、上履き・上履き入れとすでに配付している保護者会資料を必ずご持参ください。また、学年によって開始時間が違いますので、ご注意ください。（1年生は13時30分から、相模級と2年生は14時40分から、3年生は15時50分からです。）



学校の紫陽花

とても綺麗に咲いています！